

2024年 3 月 22日
東日本旅客鉄道株式会社
高 崎 支 社

J R 吾妻線（長野原草津口・大前間）沿線地域の総合的な交通体系に関する議論の申入れ
について

群馬県、長野原町及び嬭恋村に対し、J R 吾妻線（長野原草津口・大前間）沿線地域の総合的な交通体系に関する議論を行いたい旨の申し入れを、別紙のとおり行いましたのでお知らせいたします。

J R 吾妻線（長野原草津口・大前間）沿線地域の総合的な交通体系に関する議論の申入れ

東日本旅客鉄道株式会社
高 崎 支 社

吾妻線につきましては、弊社が 1987 年 4 月に日本国有鉄道から承継いたしました。公共交通から自家用自動車への移動手段の転換、人口減少の影響等によりご利用者数の減少が続き、2022 年度の吾妻線長野原草津口・大前間は、1 日当たりの平均通過人員が 263 人と会社発足時から約 7 割減少しております。鉄道の特長である大量輸送のメリットを発揮できていない状況であり、弊社として地域の皆さまのお役に立てていないのではないかと考えております。

人口減少が進む中、「地域の交通体系のあり方」の議論を行い、本当に地域の皆さまにとってお役に立てる交通モードが現在の鉄道なのか、存続や廃止という前提を置かない議論が必要と認識しております。

したがって弊社としては、当該沿線地域の公共交通を持続可能なものとし、吾妻線長野原草津口・大前間の沿線地域の発展に貢献していくために、ご利用されるお客さまにとって利便性が向上する交通体系のあり方を総合的な観点から検討する必要があると考えております。

くわえて当社グループの強みを活かして、観光や生活ソリューション事業、Suica、MaaS 関連の事業等により沿線地域の発展にも引き続き貢献していく所存であります。

このような状況を踏まえ、弊社としては沿線自治体等の皆さまとともに、吾妻線長野原草津口・大前間について、沿線地域の総合的な交通体系に関する議論を行いたく、協議への参加について検討をお願いいたします。

付記 申し入れ先について

本申し入れは、群馬県、長野原町、嬭恋村に対して行っています。